

# 平成 23 年度 伊勢地域公共交通会議 第4回 議事要旨

## ■ 開催概要

日時：平成 24 年 2 月 16 日（木）15:30～

場所：伊勢市役所 東庁舎 4-3 会議室

出席者：全 15 名

市民代表 3 名

一般乗合旅客自動車運送事業者

1 名（三重交通伊勢営業所所長代理）

一般旅客自動車運送事業者

1 名（三重県旅客自動車協会伊勢支部長代理）

一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車運転者が組織する団体

1 名（三交伊勢志摩交通労働組合）

中部運輸局三重運輸支局

1 名（首席運輸企画専門官代理）

三重県伊勢警察署 1 名（交通第一課長代理）

三重県 1 名（三重県政策部交通政策室長代理）

伊勢市 2 名（市長・都市整備部長）

事務局 4 名（伊勢市都市整備部交通政策課）

## ■ 議事内容

### 1. 平成 24 年度の運行(案)について

事務局より、平成 24 年度の運行(案)について、資料を用いて説明。

デマンドを 3 ルートにした、評判はどうですか。（市民代表）

⇒最初、デマンドは数字的には落ちるということを想定してしまっていて、これはもっと PR をしていくということで防げるのですが、意外に乗った方は、バスよりもタクシー感覚で行けて高級感があっていいということは聞いていますので、満足しているのではないだろうか、今のところはそういう評価です。苦情等は思ったよりほとんどありません。（事務局）

小木・田尻ルートは、4 便だったのを 2 便増加したということですが、ここはもともと、去年の 8 月にデマンド運行されて、その前はバス路線ということではなかったですか。その時も、便数は 6 便だったのか、もともと 4 便だったのですか。（三重運輸支局）

⇒もともとはバス路線で、4 便です。（事務局）

小木・田尻ルートは、716 人も減っているが、普通は前年よりも増えてるから増やすということかなと思ったのですが、要望は高いが、乗りたい時間に乗れないから、こんなに減って

いるという理解でよろしいか。(三重運輸支局)

⇒はい、そのとおりです。確かに、乗り継ぎが悪い、行っても帰ってこれない、確かに不便ということでした。特に日赤に行きたいという声は非常にありまして、前々から強い要望がありました。(事務局)

日赤が1月に移転して、まだ1ヶ月しかデータは出ていないと思いますが、どうですか。  
(三重運輸支局)

⇒御菌ルートについては、1月中の乗降が合わせて100人程度、東大淀・日赤ルートは、300人程度あり、つなげた効果は出ています。(事務局)

逆に、新日赤で乗り降りが増えているのですが、もともとあった旧日赤はどうか。  
(三重運輸支局)

⇒御菌ルートについては、今までの運行上、旧日赤の中で転回して、乗り降りをしてきましたが、今回閉鎖になり転回ができませんので、乗り入れをしていません。東大淀・日赤ルートについては、通過する形になるので、バス停を前の道に持ってきて、宮町駅東口に名称を変えて設置しており、日赤以外の周辺の方も使っていると聞いてますので、そちらについても乗降というのは一定程度あります。(事務局)

小木・田尻ルートを今後、2便増強するということですが、タクシー協会の立場と、今回デマンドを受託させていただいている三交タクシーの立場と両方ある中で、やはり、受託していないタクシー事業者としては、こういった主要な施設へのデマンド乗り入れというのは非常に厳しいものがあるかと思えます。三交タクシーの1月の新日赤になってから電話で予約いただいたのが、帰りですが、220~230件ありました。それが、たまたまルートの近所のお客様であれば、お客様は100円でご利用いただけますので、非常に安いタクシーができたなという感覚になろうかと思えます。そこで、痛しかゆしの部分として、受託している立場から言わせていただきますと、回数をこなしていただければ非常にありがたい。協会の立場から申しますと、通常1500円~1600円の商売となるお客様をとられるというのは非常に厳しいということで、今後、このあたりもお聞きいただければと思います。

(三重県旅客自動車協会伊勢支部)

⇒非常に悩ましいところです。事業者の視点、協会の視点、行政の視点と、それぞれいい部分と悪い部分が出てくるかと思えますが、それらも含んで考えさせていただきたいと思えます。  
(議長)

新日赤にデマンドで行って、帰りは時間が合わないということで、タクシーの利用が増えますと、相乗効果で協会としても非常にありがたいと思えます。デマンドもやはり、リピーターのお客様が非常に多いです。この4月以降のダイヤ改正と合わせて利用促進策の強化をお願いします。(三重県旅客自動車協会伊勢支部)

デマンドにすると、よく他の市町だと、高齢者の方が多いので、予約をしたけどやめてしまったという、つまり運転手はすぐに行くわけにはいかないのを待っていると、乗っている人

は遅れてしまって、という両方のトラブルがよくあると聞くのですが、そういう苦情は全くないということですか。(三重県)

⇒タクシー行ったのに来なかったというのは、5回程度あります。あまり多発するようであれば、原因を調査しなければいけないのですが、原因がうっかり忘れたとか、その辺までは追求はしていませんが、ただ、タクシー会社のほうでは、電話番号がわかっていますので、本人確認などは今後参考にできるかと思っています。(事務局)

数字だけ見ていると、デマンドになると面倒くさいと思う方もいるので、利用率が減るのはしょうがないかなと思います。小木・田尻ルートは8月以降の実数がだいたい200いくつというのが見えたので、そこからいくと、半数以下に減っていて、湯田新村元町ルートも半分くらい減っている。その地域での声を拾ってきたときに、なんか面倒くさくなったわという話はそんなに出ていないということなので、この数字は極端だと思ったのですが、それが出ていないのだったらいいのかなと。2、3割減る、4割減るくらいかなと予想していたのが、半数以下になっているので、少しそのあたりは心配なんですけど。(市民代表)

⇒苦情を直接は聞いていないです。面倒くさくなったとか、不便になったとかは、たまたまそうだった方がこちらに声が届いていないものですから、そのあたりが微妙なところでありますので、平成24年度については、市民アンケートとか、利用者アンケートをとりまして、利用者以外の沿線の方々にも、これは利用促進でのアンケートになるかと思いますが、そういうことも考えています。(事務局)

デマンドの説明会に私も伺いましたが、必ず利用しないと病院に行けないという方がいて、そういう方はやはり、ありがたいと言ってみえたので、そういう方も他にもいると思います。日赤が遠くなったので、もっと広報していただけたら、結構デマンドで便利という方はあるかと思っています。(市民代表)

⇒デマンドを実験的にスタートして、それに対する出てきた意見については、今の皆様からの意見を参考にしながら、できることから対応していきたいと思っています。(議長)

## 2. 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について

事務局より、地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について、資料を用いて説明。

今年度に関して、平成23年度と24年度が評価の対象になるのですが、平成24年度に関しては、平成23年10月から平成24年9月までの数字がまず一点と、こちらの評価に関しては、個々の計画の評価ということですが、伊勢市全体の概要、交通計画の評価というものが、何か資料があればいただきたいというのが二点目。あと、今後の改善点ということで、全て同じ項目になっていますが、場所によっては多分違うのではないかと。ところで、具体的な改善策があれば教えていただきたいという三点です。(三重運輸支局)

⇒改善策の一つとしては、地域の老人会とかへ出向いて、おかげバスとかデマンドの乗り継ぎとかの説明等を行っていきたくて考えています。要するに、乗っていただける人にターゲットを充てて、そういう工夫が必要であろうと考えています。また、伊勢病院でキャンペーンのような形で、コミバスの紹介をしたこともあります。そのように粘り強くして増やしていきたい

と思っています。あるいは、これは事業者さんと検討はしていませんが、例えばぎゅーとらのようなスーパーに行くとき、コミバスへ乗ってきたらポイントがもらえるような、工夫して利用を図っていきたいと考えています。(事務局)

今年度に関しては24年度の評価も入った資料も作っていただくということでお願いします。  
(三重運輸支局)

### 3. その他

---

#### 【沼木地区の取組みについて】

事務局より、沼木地区の取組みについて説明。

⇒現在、沼木地区のまちづくり協議会のほうで、地域で運行できるような交通手段はできないかということで、検討を進めています。その協議会の中でミニバス委員会を立ち上げ、今まで計9回開催しており、事務局からも1人参加しています。地区でどういった問題があるのかというのを、各自治会へ協議会が回ったなかで、やはり地区の方の交通の確保というのが、大きな問題があるということが、8自治会のうち6自治会から出てきたということで現在に至っています。1月18日から27日にかけて、沼木の各地区、8自治会全部に、ミニバス委員会が回り、現在、協議会の中で考えている、通院や買い物など、日常生活が最低限行えるようなルートやダイヤについて説明をしています。運行車両については、10人乗りのジャンボタクシー程度の大きさで検討しています。

また、沼木線は、交通政策課と教育委員会で負担をして、スクールバスとしての役割もあるのですが、できれば今検討している地域のバスで、スクールバスの役割を担いつつ、通学以外の時間については、日常の買い物、通院等に使えればと考えています。引続き地区のほうで検討を進め、こちらの公共交通会議の場でも報告をさせていただきます。(事務局)

⇒これはおかげバスとしてやるのか、地域としてやるのか、運行主体とかは。(議長)

⇒少なくとも、今のおかげバスとかデマンドという方式とは別で、あくまでも地域が主体の運行を考えています。もしかしたら、車両は市が貸与する形で運行するとか、地区のほうから事業者へ委託するとか、色々なパターンがありますが、まだこれからの話になります。(事務局)

⇒沼木の方、熱心に、半年くらい前から行っていますが、皆さんの立場からご指導もいただきたいと思います。また、もう少し形が整ってから、皆様にも知恵をいただきたいと思います。  
(議長)

#### 【その他】

新日赤の話が出てますが、病院自体を利用している方も、交通手段は、現在、恐らく試行錯誤中ではないかと思います。路線バス、タクシー、デマンドバス、色々な方法がありますので、ただ、新日赤の事務の方と話をしていた中では、自転車が目撃以上に多いため、自転車置き場が溢れているという話をしていました。それぞれ自分に合った行動パターンを作っている最中ではないかと思います。(伊勢警察署)

バスの運賃で年齢による割引運賃は、証明が必要になりますが、忘れてきた、持ってきていないというのが多々ある中で、見た目の判断では分かり辛いので、寿バス券みたいに年齢証明書みたいなものを発行してもらいたいのだが。(三交伊勢志摩交通労働組合)

⇒三重交通とこういうプランがいいのかと、他市のことも含めて、明示できるものを事例も研究して考えさせてください。(議長)

1月から新日赤に一般路線バスも乗り入れており、1日10数本で往復を走っています。以前の旧日赤よりは交通状況のほうが鉄道との近さが違いますので、もう少し乗っていただければというのは正直なところありましたが、今まで自家用車で来られた患者さんは、例え場所が変わっても、今までどおりのスタンスで来るのかなというところがありますので、今は様子見のところですか。これからはダイヤの試行錯誤をしながらも、本数的には考えながらいこうと思っています。思ったよりは少ないというのが現状です。(三重交通)

⇒新日赤への動向だとか、八間道路の渋滞だとか、様々なことを抱えていますので、また皆様から知恵をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。(議長)